










平成26年度・当初予算

一般会計 総額131億4,000万円(前年度比7.0%増)

平成26年度の一般会計当初予算は、131億4千万円、前年度比で7.0%の増、86,500万円の増額となりました。国の予算編成、地方財政対策を踏まえ、限られた財源を有効に活かし、「夢かなう都留市」の実現に向け、市長公約に掲げた4つのコンセプトに基づいた事業を重点的に盛り込んだ編成となっています。
※なお、平成26年度の主な事業は6ページをご覧ください。

■性質別市民一人あたりの予算額(一般会計・金額の多い順)

 ①民生費 高齢者や乳幼児、障害者などの福祉、生活保護、災害救助など 114,534円	 ②教育費 保育所や小・中学校、社会教育、芸術文化、スポーツの振興など 77,976円	 ③総務費 税務・戸籍・選挙・統計などの事務や庁舎などの管理 60,730円
 ④衛生費 病気の予防や健康相談、ごみ処理など 42,350円	 ⑤公債費 市の借入金の返済 41,902円	 ⑥土木費 道路や橋、公園、住宅の整備など 40,346円
 ⑦消防費 消防活動や消防団、災害対策など 17,572円	 ⑧議会費 市議会の運営 5,619円	 ⑨商工費 商工業や観光の振興など 5,064円

市民一人あたりの予算額 410,882円 (381,923円)	一世帯あたりの予算額 1,037,505円 (981,215円)	平成26年1月1日現在人口(外国人含む)…31,980人 平成26年1月1日現在世帯数…12,665世帯 ※()内は昨年度数値(外国人含む)
---------------------------------------	--	---

特別会計

総額80億2,129万8千円
(前年度比4.7%増)

「特別会計」とは特定の収入をもって特定の事業を行う場合に、その収支を明確にするため一般会計とは切り離して処理するもので、都留市には12の特別会計があります。

会計	予算額(千円)	前年度比(%)
国民健康保険事業	3,346,140	▲1.5
簡易水道事業	319,266	▲1.2
住宅新築資金等貸付事業	3,200	2.0
下水道事業	1,193,867	11.2
介護保険事業	2,570,359	12.5
介護保険サービス事業	9,389	▲8.0
後期高齢者医療	550,810	0.6
財産区など	28,267	49.8
合計	8,021,298	4.7

公営企業会計

総額42億2,956万6千円
(前年度比9.5%増)

「公営企業会計」とは、その公営企業に伴う受益の程度に応じた料金(使用料)で賄うため、その収支を明確にすることから一般会計とは切り離して経理するもので、都留市には水道事業会計と病院事業会計の2つの公営企業会計があります。

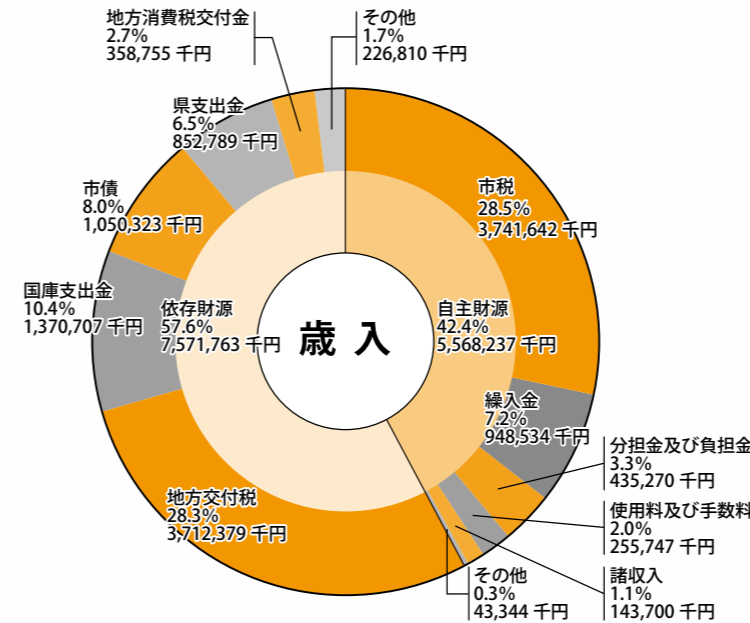
会計	予算額(千円)※2	前年度比(%)
水道事業	599,842	21.6
病院事業	3,629,724	7.7
合計	4,229,566	9.5

※2 予算額=総費用-(減価償却費+資産減耗費)+資本的支出で算出

3月補正事業

国の緊急経済対策に伴う平成25年度補正予算(第1号)に対応し、前倒しした事業を平成25年度3月補正予算に計上しましたので、お知らせします。

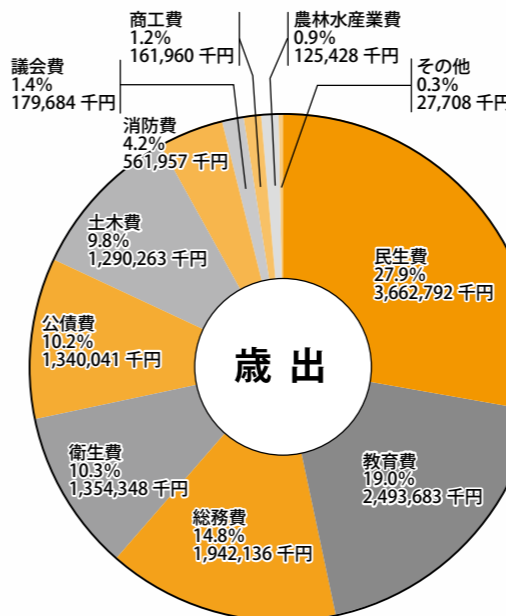
事業名	予算額	内容
農業体質強化基盤整備促進事業	9,500	農業体質強化のため、農業水利施設の整備を図るため、厚原坂本水路改修工事などを行います。
通学路整備対策事業	13,000	児童及び生徒の安全確保と身近な歩行空間を整備するため、城山厚原線転落防護柵設置工事を行います。
道路ストック点検業務委託	13,000	道路などに隣接する法面と道路照明などの附属物の調査を実施するため点検業務を行います。
橋梁修繕事業	88,100	「都留市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、安全安心な交通インフラを確保を図るため、佐伯橋補修耐震工事(第二工区)外1箇所などを行います。
九鬼団地1号棟外壁補修工事	6,194	公営住宅の適切な維持管理を図るため、九鬼団地1号棟外壁補修工事を行います。
宝小学校体育館改修工事	99,717	宝小学校体育館の屋根、外壁及び非構造部材の耐震化(ガラス入替、飛散防止フィルムや構造物落下防止措置)、トイレなどの改修工事を実施します。
都留第一中学校校舎屋根外壁改修工事	124,620	都留第一中学校校舎の屋根、外壁及び非構造部材の耐震化(ガラス入替、飛散防止フィルムや構造物落下防止措置)などの改修工事を実施します。



歳入

歳入は、固定資産税と市たばこ税の減少はあるものの、個人市民税や法人市民税、軽自動車税の増収を見込み、対前年度比0.9%増としました。市の借金である市債は、10億5,032万3千円で、そのうち実質的な地方交付税である臨時財政対策債が6億9,292万3千円を占めています。

地方交付税は、平成25年度から公立大学の基準財政需要額算定における種別補正係数が増加されたことなどにより対前年度比13.3%増としました。特定財源のうち国庫支出金は、佐伯橋補修耐震工事(第三工区)などの実施により対前年度比8.9%増、県支出金は、緊急雇用創出事業などの実施により対前年度12.9%増、歳入金は、財政調整基金などの増加により、対前年度比24.8%増としました。



歳出

歳出は、性質別で見ると、普通建設事業が佐伯橋補修耐震工事(第三工区)や市民総合体育館改修工事などが増加する一方、東桂中学校校舎改修工事や旭小学校校舎屋根・外壁改修工事などの終了により前年度比3.9%の減としました。

義務的経費については、前年度比0.8%減で、そのうち人件費は、地方公務員共済組合等負担金等の減により0.7%減(うち職員給は、職員増などにより1.3%増)、扶助費は児童手当などの減により0.8%減、公債費は1.1%減としました。

平成26年度の主な事業

今年度、新規・拡充する事業などを紹介します。

コンセプトⅠ

創ります！豊かな産業のあるまち

シルバー産業誘致事業

今後、急増が予想される都市部高齢者の介護ニーズに対応した介護施設の誘致や、高齢者をターゲットとしたものづくりを推進し、新たな雇用の創出、市内経済の発展や産業の振興を図ります。

予算額 5,756千円



農林産物直売所建設事業

山梨リニア実験線の一般試乗の集客を見込み、近隣地に県内でも例を見ない観光農園と体験農園とを一体とした大規模な農林産物直売所のオープンを目指し、平成26年度は基本構想から設計業務を行い、地域産業の活性化と地産地消を推進します。

予算額 2,000千円

■その他主な事業

特徴ある農業推進事業	10,000千円
地場産業支援事業	10,900千円



コンセプトⅡ

輝かせます！都留の誇り

看護系大学誘致事業

平成26年度末を以て使用が終了する桂高等学校の跡地に学校法人富士修紅学院が運営する健康科学大学看護学部を誘致し、平成28年4月開校に向け、施設改修、施設取得などを実施します。

予算額 550,000千円



市民総合体育館改修事業

昭和57年に建設され、約30年が経過した老朽化が著しい市民総合体育館の床、内装、照明設備、空調機器、トイレなどの改修を行い、利用者の利便性向上と市民のスポーツ実施率の向上を図ります。

予算額 147,629千円

■その他主な事業

禾生第二小学校非構造部材耐震化改修事業	37,613千円
宝小学校プール改修事業	65,172千円



コンセプトⅢ

育みます！やさしさと元気のまち

放課後児童クラブ(学童保育)の推進

平成26年度は禾生地域コミュニティセンター内に禾生第一小学校区放課後児童クラブ室を増設し、労働などの事情により保護者が昼間いない家庭への支援と子どもの健全な育成を図ります。

予算額 58,586千円



介護予防施設整備事業

市内各地域に高齢者専用のスポーツジムや認知症防止を目的とした、脳のエクササイズであるブレインジムの設置を目指し、平成26年度は実施に向けた調査などを行い、高齢者が元気で、生きがいを持って暮らせるための社会の実現を図ります。

予算額 175千円

■その他主な事業

災害時救急搬送拠点ヘリポート整備事業	2,000千円
--------------------	---------



コンセプトⅣ

実行します！新しいステージへ

ふれあい集会の開催

月に1回程度を目安として、市民を対象に市長、職員などが集会所などに出向き、意見交換を行い、主な意見とその回答については、広報つるに掲載し、広く周知します。

予算額 27千円



公共施設白書の策定事業

市の財政状況と資産状況を勘案する中、各施設の現状や課題を把握し、将来の公共施設の統廃合を含めた改修や建て替えを検討するための公共施設白書を策定します。

予算額 24千円

